

暖かな陽の光が雪解けをすすめ、春を心待ちにした花々が一斉に咲く、まさに春爛漫の季節がやってきました。

この佳き日に保護者の皆様のご臨席を賜り、令和四年度長野県中野西高等学校入学式を挙行できますこと、誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまで陰になり日向になり育てて来られたお子様が、義務教育を終えて晴れの高校入学を迎え、感慨もひとしおかと拝察いたします。

さて、ただいま入学を許可いたしました197名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。本日より皆さんは中野西高校39期生として高校生活を始めます。在校生、教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

今日から始まる高校生活は、これまでの生活とは本質的に大きく異なります。それは、一言で言うならば、「与えられたことを学ぶ」生活から、「自ら進んで学ぶ」生活への変化ということだと思えます。

本校は開校当時から続く全校で取り組む環境活動や英語科より続く国際交流・異文化理解の活動などが評価され、平成27年に県内の高校で初めてユネスコスクールに承認されました。私たちはユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、ESD（持続可能な開発のための教育）の拠点校として、環境や地域活動、異文化理解を世界中に広げていく使命があります。

ユネスコスクールの一員として、これから始まる高校生活で心にとめておいて欲しいことを述べます。

ユネスコ憲章の前文に次のようなフレーズがあります。

『戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなくてはならない』

というものです。

現在、ロシアがウクライナへの侵攻を実行しています。毎日メディアで流れる現地の惨状を皆さんはどう感じ思っていますか。歴史を繰り返さないために、私たちは未来の自分の社会、世界、人類のために学ばなければなりません。

これに限らず、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。これら諸問題を自分ごととしてしっかり考え、私たちが主役で生きる時代が、そしてその後続く世界が幸せであるために、「自ら学ぶ」努力を続けなければなりません。何が幸せなのか、様々な場面で問いを投げかけながら、自分の意思で、失敗を恐れずに、前向き

に取り組んで欲しいと思います。

そして、人類の平和と共存のためには多様性を受け入れる寛容さが必要です。同じ社会に生きる仲間を簡単にSNS等で傷つけてしまう時代になってしまったことは大変憂慮すべきことです。違う考えを持った人たちがひとつの世界、ひとつの空間にいる。完全に理解することは不可能でも、傷ついたり、命を落とすことなく、同じ空間にいるための知恵をお互い持たなければなりません。

そのために周りの人とのコミュニケーションを大事にすること。直接顔を合わせて、やわらかな笑顔で、思いやりのある言葉で人に接することが人間関係構築の大切な第一歩です。笑顔で、相手を思う、明るい挨拶や言葉がけを実践しましょう。そこから、明るい心が、明るい社会が生まれます。

この中野西高校で、さまざまな出会いや活動を通して、一人ひとりが、授かったかけがえない命と存在、そしてあなたらしい個性を磨き上げる努力をして欲しいと願っています。

新入生の皆さんが、心身ともに健康で、これから始まる高校生活が希望にあふれ、日々充実した高校生活を送ることを、心より期待して式辞といたします。

令和四年四月六日

長野県中野西高等学校長 弓削 弥生